

夕方の日暮れの時に鳴くことから

『日を暮れさせるもの』として、



朝夕に

ひびくこえは、

令和2年度



清涼感やもの悲しさを感じさせる。

続
の
蜩

鳴く頃に



実施 令和2年
9月4日

日本古来より、美しい声でなくせみとされた・・・



下関市立 文洋中学校



夏の日、

熱気の中で聞く蝉の声は

なぜか、遠くにあるようで

聞いていた私の現実感を失わせた。

蝸。



茅蝸

晩蟬。

日暮。

すべて『ひぐらし』のことだ。

かなかな
かなかな と鳴くらしい。

だから、私の母は、『かなかな』と呼んでいる。

学術的に述べると、

カメムシ目(半翅目) セミ科
ヒグラシ

ちょっとした驚きかもしれない。

そして、蝸は、

日本を含む東アジアに広く生息している。

せみの声。と呼ぶ音にも感情を感じる私たち。

これも私たちの日常。

そして、今、蟬の声が聞こえない。

かなかなと鳴いていない。



巨大な台風が来ている。

蝸は、知っているのだ。

明日の体育祭はどうなるのだろう。

すべては、自然とともに。

詳しい情報は安心メールで。



体育祭当日に、是非

真摯な生徒のまなざしをご覧いただきたい。

了

そして、今、その蟬の声が聞こえる。

